

事 務 連 絡
令和5年9月25日

保護者の皆様

津市自治会連合会美里支部 会長 様

津私立保育園協議会 会長 様

転園に御協力頂いた保育施設長 様

津市健康福祉部子育て推進課

今後の美里地域での保育に係る現時点における津市の考え方について

1 経緯

美里地域における保育については、これまで社会福祉法人ライトが運営する私立保育所（旧美里さつき保育園）により確保されていましたが、同園が令和5年6月30日（金）をもって閉園したことから、本市の緊急的な対応として、まずは、同年7月3日（月）から津市立白山こども園において、旧美里さつき保育園に在園していた全ての児童58名が一緒に受け入れができるように対応の準備を整え、自宅での保育や津市立みさと幼稚園への転園の2名を除く56名が白山こども園に転園していただきました。その後、保護者の皆様の意向を踏まえて、他の保育施設に転園を希望される26名は、市内の保育施設の御協力も得て、転園の利用調整により既に21名が転園されており、5名が転園を待たれている一方、30名は転園を希望されておらず令和5年度末まで白山こども園での保育を継続される見込みです。

2 津市自治会連合会美里支部の意見

本市では、上記の対応を行いつつ、令和5年8月22日（火）に津市自治会連合会美里支部から、旧美里さつき保育園閉園と美里地域における保育の在り方についての御意見を伺いました。

同支部からは、美里地域に旧美里さつき保育園に代わる新たな保育所の設立を求める御意見を頂くとともに、新たな保育所の立地については、旧美里さつき保育園が所在する場所が望ましいことから、民間法人により旧美里さつき保育園舎を活用して保育を再開することが最も望ましく、それが難しい場合には、公立において保育を確保するべきであるという御意見を頂きました。

た。また、旧美里さつき保育園を利用していた保護者の意向も十分に確認して欲しいという御意見も頂きました。

3 旧美里さつき保育園利用者の意見

美里地域における保育の検討を進めるため、津市自治会連合会美里支部の意見を踏まえ、旧美里さつき保育園を利用していた児童の保護者の皆様に対し、美里地域に旧美里さつき保育園の閉園に伴う保育の在り方や利用希望等に係るアンケート調査を実施しました。

当該アンケート調査の結果によると、美里地域の保護者においては、旧美里さつき園舎を活用して民間法人が保育を再開することについて、78.6%（14世帯中11世帯）が希望されており、民間法人による保育の再開ができない場合には、公立において保育を確保することも多くの方が希望されていることから、美里地域における保育の再開が望まれている状況です。

4 今後の美里地域での保育に係る現時点における本市の考え方

美里地域において唯一の保育所であった旧美里さつき保育園が閉園したことにより、現在、同地域には保育所が存在していない状況であることから、本市としては、同地域の保育ニーズに対応するため、旧美里さつき保育園に代わる保育を再開することが必要であると考えます。加えて、同地域は、保育ニーズが非常に高い久居地域に隣接しており、旧美里さつき保育園については、その立地から、久居地域の保育ニーズの受け皿としての役割も担っていたため、この点からも民間法人による旧美里さつき園舎を活用した保育の再開が最も望ましいものと考えます。

このような考え方の下、旧美里さつき保育園舎を活用した民間法人の参入の意向があった場合は、当該法人に保育施設の運営実績があり、美里地域に根ざし、子どもの最善の利益を考慮した保育が提供されることを条件として、津市自治会連合会美里支部や旧美里さつき保育園利用者の意見を踏まえ、津私立保育園協議会の理解も得て、当該法人が保育を引き継ぐことを可とするものです。

また、令和6年4月の保育所の再開に向けて、民間法人による手続が具体化した場合、退園になった児童58名の保護者の皆様には、再開する保育所への入園を希望される児童は、優先して入園していただけるように令和6年1月頃にご案内させていただく予定です。一方、一般の保護者の皆様には、同年2月頃の1次調整結果をお知らせする際に、入園できなかった方など、2次調整に向けて再開する保育所の申込みができるように、その空き状況を

お知らせする予定です。

なお、民間法人の参入の見込みが絶たれた場合には、公立において、保育を確保することについて、検討を加速させるものとします。

〔 事務担当 健康福祉部子育て推進課
こども・子育て政策担当
電話番号 229-3390 〕